

③図書館評価

図書館評価について

さいたま市図書館ビジョンの22の基本方針を評価の目標として、令和元年度の「さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容」に沿った指標と目標値を設定しています。

各指標及び目標値は、一部、見直しや入れ替えを行いました。

令和元年度目標、指標及び目標値

目標	指標	目標値
図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	新規登録者数	31,900人
	貸出総数	10,150,000点
	来館者数	7,030,000人
	貸出利用人数	2,802,000人
	市民一人当たりの貸出数	7.8点以上
	メールマガジン配信件数	17,400件
	ハブリシティ件数	52件
幅広く計画的な資料の収集・保存	資料回転率	2.7点
	雑誌タイトル数	839タイトル
	新聞タイトル数	119タイトル
	所蔵タイトル数(図書)	1,192,000タイトル
地域の歴史と文化の保存	市民一人当たりの資料数	2.9点
	地域・行政資料の蔵書数	158,300点
ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実	デジタル化してインターネット公開した地域資料の閲覧回数	1,884回
	ホームページコンテンツの充実	実施
	インターネット延利用人数	131,900人
文化事業の開催	自動貸出機の整備(新規導入館数)	4館
	講座等の実施回数	131回
	講座等の参加人数	2,770人
	映画会の開催回数	115回
	映画会の参加人数	4,820人
あらゆる世代に向けたサービスの充実	展示会の開催回数	34回
	テーマ資料展示の実施回数	904回
レファレンスサービスの充実	各世代向けの本の紹介資料作成	120点
	レファレンス受付件数	143,200件
	レファレンス事例の公開件数	188件
	職員レファレンス研修の開催回数	18回
地域の課題解決	バスファインダー(調べ方案内)作成数	119タイトル
	町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題に関わる資料の市民への提供	実施
生活支援サービスの展開	市の各所管からの業務に対する問合せ件数	42件
	日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供の取組	実施
バリアフリーサービスの充実	音訳資料・点訳資料の所蔵数	3,410点
	対面朗読回数	279回
多文化サービスの充実	宅配サービスの貸出数	584点
	外国語資料の受入点数	691点
子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	多文化サービスに関わる展示	25回
	小学生の不読者の割合	2.9%
	中学生の不読者の割合	7.7%
	高校生の不読者の割合	31.5%
	子ども向け行事開催数	1,460回
	読みかせや本に関する講座・講演会の実施	16回
	子ども向けの資料案内の作成	47回
図書館評価と市民意識の反映	学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数	430回
	図書館評価の実施と公表	当年度内に前年度の業務実績を評価。図書館協議会の意見を取り入れて12月末までに公表。
市民との協働	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の実施と公表	全館で9月中の10日間アンケートを実施。その結果を翌年1月から2月までの1か月のあいだ全館で掲示。(注)
	ボランティアとの協働事業数	106事業
関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携	ボランティアとの協働事業の延実施回数	729回
	連携事業の連携先機関数	42機関
地域の特色を生かした運営	職場体験の受入件数	88件
	地域ならではの取組	実施
親しみやすい図書館づくり	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度	91%
職員の資質・能力の向上	組織内研修の実施回数	192回
	派遣研修の件数	123件
専門的職員の配置	専門性の向上につながる研修の受講	50回
	専門性の向上につながる研修への講師等としての派遣	20回
施設・設備の充実	施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進(改修館数)	実施
持続的で安定した図書館の運営	業務マニュアルの整備・見直し	実施
	財源確保や経費節減のための収入額	2,780千円
危機管理体制の強化	職員の危機管理意識を高める取組	消防訓練を全館で各館1回全25回、かつ22回以上の防災訓練、危機管理研修等を実施。

(注) 修繕工事等で9月に休館中の図書館は除きます。

③ 図書館評価

平成29年度図書館評価一覧 『平成30年度さいたま市図書館評価報告書（平成29年度事業対象）』より

目 標		評価	指 標
知的 好奇心に 応える 図書館	① 図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	B	新規登録者数=b 貸出総数=a 来館者数=a 貸出利用人数=b 市民一人当たり貸出数=b メールマガジン配信件数=b パブリシティ件数=a
	② 幅広く計画的な資料の収集・保存	B	資料回転率=a 雑誌タイトル数=b 新聞タイトル数=b 所蔵タイトル数(図書)=a 市民一人当たりの資料数=b
	③ 地域の歴史と文化の保存	A	地域・行政資料の蔵書数=a デジタル化した地域資料のインターネット公開=a
	④ ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実	B	ホームページコンテンツの充実=a インターネット延利用人数=b 自動貸出機の整備=a
	⑤ 文化事業の開催	A	講座等の実施回数=a 映画会の開催回数=a 展示会の開催回数=a
生きる 力を 支える 図書館	⑥ あらゆる世代に向けたサービスの充実	A	テーマ資料展示の実施回数=a 各世代向けの本の紹介資料作成=a
	⑦ レファレンスサービスの充実	A	レファレンス受付件数=a レファレンス事例の公開件数(年間)=a 職員レファレンス研修の開催回数=a パスファインダー(調べ方案内)作成数=b
	⑧ 地域の課題解決	A	町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題に関わる資料の市民への提供=a 市の各所管からの業務に対する問合せ件数=a
	⑨ 生活支援サービスの展開	A	日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供への取組=a
	⑩ バリアフリーサービスの充実	B	音訳資料・点訳資料の所蔵数=b 対面朗読回数=a 宅配サービスの貸出数=a
	⑪ 多文化サービスの充実	A	外国語資料の受入点数=a 多文化サービスに関わる展示=a
	⑫ 子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	B	小学生の不読者の割合=d 中学生の不読者の割合=d 高校生の不読者の割合=a 子ども向け行事開催数=a 読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施=a 子ども向けの資料案内の作成=a 学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数=a
市民 とともに 歩む 図書館	⑬ 図書館評価と市民意識の反映	A	図書館評価の実施と公表=a 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の実施と公表=a
	⑭ 市民との協働	B	ボランティアとの協働事業数=b ボランティアとの協働事業の延実施回数=a
	⑮ 関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携	A	連携事業の連携先機関数=a 職場体験の受入件数=a
	⑯ 地域の特色を生かした運営	A	地域の特色を生かした取組=a
誰もが 安心して 図書館	⑰ 親しみやすい図書館づくり	A	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度=a
	⑱ 職員の資質・能力の向上	A	組織内研修の実施回数=a 派遣研修の件数=a
	⑲ 専門的職員の配置	A	専門性の向上につながる研修の受講や講師等としての派遣=a 専門性を生かした適切な資料の提供や紹介=a
	⑳ 施設・設備の充実	A	施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進=a
	㉑ 持続的で安定した図書館の運営	A	業務マニュアルの整備・見直し=a 財源確保や経費節減につながる取組=a
	㉒ 危機管理体制の強化	A	職員の危機管理意識を高める取組=a

評価基準

A—達成した B—ほぼ達成した C—あまり達成できなかった D—達成できなかった